

平成 25 年度決算審査特別委員会 Q & A

平成 25 年度決算審査特別委員会が、9 月 17 日、18 日の 2 日間開催され、一般会計から水道事業会計までの 9 会計の歳入、歳出について、活発な審議を行いました。

決算審査の質疑の一部を要約して掲載します。

質疑の主な内容

総務費

コミバスの運行について

Q 利用が伸びていないようだが、対策は。運行経路、時間帯、意向調査としては。コミバスの会を作り、住民も一緒になってバスを運行させている自治体では利用が伸びているところもあるようだ。

A 利用者アンケートでは、1 便、5 便が通学、下校が多く、2 便、4 便では買い物、帰宅が多いという結果。幕別町地域公共交通確保対策協議会の中でバスの運行についても協議させていただいており、今年の産業まつりにはバスを展示するなどして、まず親しんでもらおうと考えている。



産業まつり会場でのバスの展示

総務費

コンビニ収納手数料について

Q 1 件 60 円という手数料について、コンビニ納付が便利なのは確かだが、決算額として 197 万 3 千円かかっており、口座振替の方がより安価なため、手数料の違いも含めて周知してはどうか。

A 収納率向上のため、いつでもどこでも納付できるコンビニ納付は今後も続けるが、口座振替についてさらに啓蒙を図ってきたい。

民生費

外出支援サービスについて

Q 高齢者の付き添いの方、また精神障がいのある方についても利用出来るようになるのか。

A 身体障がい者用のリフトつきワゴンについては付き添いの同乗可能と考えているが、通常のワゴン車は人数も混み合っていて難しい。

精神障がいの方の外出支援については障害福祉サービスの行動援護事業、また地域生活支援事業の中で移動支援事業があり、一定の方についてはこの制度が利用できる。

衛生費

公共施設のごみ処理手数料について

Q 790 万ほどかかっている公共施設のごみ処理手数料について、①どの施設か。

②こういった処理をされてこれだけかかったのか。

③持ち帰りを検討しては。

A ①学校、体育施設、コミセンなどを含めた町内 56 公共施設。

②一般廃棄物、産業廃棄物、資源ごみとして処理している。

③多岐にわたる施設ということで、全面的にごみの持ち帰りを協力依頼するのは難しいと考えている。

農林業費

有害鳥獣駆除関係について

Q ①熊などが出没した際にどのように周知しているのか。

②猟友会の会員減少、なり手不足への対応は。

A ①農協のファクスを通じて提供、そのほか学校、保育所に情報提供している。

②猟友会会員は全国的な傾向と同じく高齢化に伴い減少。鹿等はライフルによる駆除だけでなく、くくりわな等免許を取る際に助成、わなの貸し出しを行っている。



札幌オータムフェストの幕別ブース

商工費

観光物産協会補助金関係について

Q 幕別の特産品の販路の推進について、

①販路拡大をどのように行っているのか。

②ネット販売等の対策は。

③逸品の詰合せ等の取り組みについては。

A ①札幌のオータムフェスト、東京の北海道フェア等さまざまなイベントを通じて町の物産のPRに取り組んでいる。
②現在はまだ取り組んでいない。
③詰合せについては試行的にイベントの副賞としてチーズ・スープ等を送っており、研究している段階である。

土木費

道路補修工事費について

Q 道路は最低限のライフラインのひとつであり、ひどくなつてからの補修では何倍もかかる。特に幹線の町道について、早期の対策が必要ではないか。補修工事費の額がこれで適切と考えているか。

A 3年総合計画のなかで町道も順に補修を協議しているが、今後メンテナンス費用が増大することも予想されるので、予算の中で効率よく補修に当たりたい。

教育費

学校給食について

Q ①アレルギー除去食・代替食への対応はできないか。
②アナフィラキシーショックへの対策は。

A ①牛乳アレルギーに対しては豆乳を代替として対応している。弁当持参の児童が現在6名いるが、給食センターの設備の状況、人員配置、スペースの面で除去食に対応できないのが現状である。
②嘱託学校医によるエピソード接種の講習、道教委開催のアレルギー等講習会への職員の参加、学校内組織でアレルギーに対応するチームを組織、危機管理マニュアルの作成等を行っている。

職員費

人事評価制度について

Q 人事評価の結果について職員給与に反映する考えがあるのか。

A 国から、平成28年4月から給与に反映させる形での完全実施をという通知がでており、評価の基準を確立し、公正で客観的な評価を実施できるように制度を構築したい。

介護保険特別会計

待機者の現状改善について

Q 町内で入所施設の整備が進んでいるにも関わらず、特養老人ホームの待機者数に改善が見られない。どのように解消を図るのか。

A 待機者解消の部分では札幌内寮が増床する考えがあることを聞いてはいるが、それだけで解決されるとは考えていない。全国傾向と同様、受け皿となる事業者がいなければ解消されない問題であり、第6期の介護保険事業計画では、在宅で充実したサービスを受け、安心して住み慣れた地域で暮らせるように計画を策定していきたいと考えている。

会計名		平成25年度決算額	平成24年度決算額	対前年度比
一般会計		149億618万7千円	138億2084万3千円	10億8534万4千円
特別会計	国民健康保険	33億3462万8千円	33億3090万1千円	372万7千円
	後期高齢者医療	3億2089万5千円	3億1740万6千円	348万9千円
	介護保険	20億5278万4千円	19億8805万6千円	6472万8千円
	簡易水道	4億2651万5千円	4億5095万1千円	△2443万6千円
	公共下水道	10億6343万4千円	10億6542万3千円	△198万9千円
	個別排水処理	1億6512万3千円	1億5622万9千円	889万4千円
	農業集落排水	5744万1千円	5564万4千円	179万7千円
水道事業	8億5840万7千円	8億5128万5千円	712万2千円	
合計	231億8541万4千円	220億3673万8千円	11億4867万6千円	
※町民一人当たり		約838千円	約797千円	